

## 張愛玲文学作品における上海語研究(4)

—『十八春』『半生縁』の動詞を中心に—

吉田陽子

### 『十八春』の動詞について(第13章～第14章)

章-頁-行	下線の語彙—上海語の動詞 ローマ字—上海語の発音	(文章の翻訳)、〈共通語〉
13 章-225 頁 -17、18 行	沈太太死了丈夫，心境倒 <u>开展</u> 了 许多。 开展(kàezēu)	(沈夫人は夫を失ってから気持ちはかえって伸 び伸びしていた。) 开展:伸び伸びしている。开展=〈舒展〉
13-225-18、19	寡居的生活她原来是习惯的，过 去她是因为丈夫被别人霸占了去 <u>守活寡</u> ，所以心里总有这样一口 气咽不下，……。 守寡(sōeguā) 咽(yì)	(彼女は元々一人暮らしをすることに慣れてい る。以前、夫を他人に取られて、後家さん同様の 暮らしをしていたので、それを腹の中に全くおさ めることができなかった。…中略…) 守寡:後家を通す。(《守活寡 sōehhēkguā》: 後家さん同様の暮らし。) 咽:おさめる。「咽不下」は《咽勿下 yivēkhhó》 にも使われており、可能補語を附加した用法。) 咽不下=〈忍不下〉
13-226-5、6	他们这次分家是对姨太太而言， 他嫂嫂以后还是跟着婆婆 <u>过活</u> ， 不过将来总是要分的。 过活(gūhhuēk)	(彼らの今回の分家は妾にとってみれば、嫁はこ れからも義母と一緒に暮らすのが、しかし将来はど うしたって分けなければならないことなのだ。) 过:暮らす。「过活」は《过生活 gūsēnhhuēk》に も使われている。过活=〈过日子〉
13-226-10	其实世钧在里面 <u>做尽</u> 难人。 做尽(zūjín)	(実を言うと世鈞は両方の中で厄介な役をやり尽 くした。) 做尽:やり尽くす。(《做难人 zūnāenín》:厄介な 役をする。「做尽」は結果補語を附加した用法。) 做难人=〈当难人〉
13-226-11	这件事总算 <u>了结</u> 了。 了结(liáojik)	(この件はやっと解決した。) 了结:解決する。了结=〈解決〉
13-226-22、23	翠芝道：“妈本来叫它来富，我 <u>嫌难听</u> 。” 嫌(yhí)	(翠芝は「母は最初この犬を来富と呼んでいた が、私は耳にさわるので嫌っていた」と言った。) 嫌:嫌う。(前掲「11-184-18～20」に同じ。《嫌难 听 yhináetin》:耳さわりと気に入らない。) 嫌难听=〈嫌刺耳〉
13-227-5～7	他一直避免和她接近，她也猜着 是因为她家里有钱，他自己觉得 <u>高攀不上</u> ，所以她总想着应当由	(彼はずっと彼女に近づくことを避けている。彼女 も自分の家は金持ちだから、彼自身が不可能だ と思っていると想像することができる。その為にも

	她这方面采取主动的态度。 高攀(gàopēu)	彼女はいつも自分から積極的な態度を取ったほうが良いと思っていた。 高攀:(自分よりも地位の高い人との)婚姻関係を結ぶ。「高攀不上」は《高攀勿上 gào pēu wú shàng zhān》にも使われており、可能補語を附加した用法。高攀不上=〈般配不上〉
13-227-19	翠芝道：“我真羡慕象她那样的人，在外面做事多好。” 做事(zūzhí)	(翠芝は「彼女のような人を羨ましく思う。外で仕事ができるのはなんと良いことでしょう」と言った。) 做事:仕事をする。家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。)做事=〈工作〉
13-227-23~ 13-228-1	世钧笑道：“你要做事干什么?” ……翠芝道：“大学毕业不毕业也不过是那么回事，我就是等毕业了说要出去做事，我家里也还是要反对的。” 做事(zūzhí)	(世钧は笑って、「仕事をしたいのはどうしてなの?」と聞いた。…中略…翠芝は「大学を卒業するかどうかはどうってことではない。たとえ私が卒業したら外に働きに出ると言ったところで、家の者はやはり反対するのだ」と言った。) 做事:仕事をする。家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。《出去做事 cèkqīzūzhí》は連動文の用法。)做事=〈工作〉
13-228-12	他这些日子一直没有到亲戚家里去走动过，……。 走动(zōudhón)	(彼はこの頃親戚の家とずっと行き来をしていなかった。…中略…) 走动:行き来をする。《走动过 zōudhóngū》は動態助詞を附加した用法。)走动=〈串門〉
13-228-14、15	从前他嫂嫂替他和翠芝做媒 碰了个钉子，他嫂嫂觉得非常对不起她的表妹，……。 做媒(zūmé) 碰(phán)	(以前兄嫁は彼と翠芝の為、媒酌の労をとったが、ひじ鉄を食らわされた。兄嫁は自分の従妹に対して申し訳なく思っていた。…中略…) 做媒:媒酌の労をとる。「做媒」は《做媒人 zūménín》にも使われている。做媒=〈当红娘〉 《碰钉子 phándìnzi》:ひじ鉄を食らわされる。(《钉 dìng》は動詞の場合《钉 dìng》となる。) 碰钉子=〈碰一鼻子灰〉
13-228-19	翠芝一度订了婚又悔婚，现在又成了问题人物了。 悔婚(huēhuèn)	(翠芝は一度は婚約したが、それを解消してしまい、今また話題の人物となっている。) 悔婚:婚約を解消する。悔婚=〈退婚〉
13-228-21、22	她常到爱咪那里去打网球，爱咪就常常找世钧去凑一脚。 凑(cōe)	(彼女はよくエミーの所へテニスをしに行くが、エミーはよく世钧を誘っては員数をあわせていた。) 凑:集める。そろえる。(《凑一脚 cōeyīkjiak》:員数をあわせる。)凑一脚=〈凑个数〉
13-229-5	好像那一年结婚的人特别多似的，入秋以来，接二连三地吃人家的喜酒。 吃(qík)	(その年には結婚する人が特に多かったようで、秋に入ってから、立て続けに人様の結婚披露宴に出た。) 吃:飲む;食べる。(前掲「1-3-2」に同じ。《吃喜

		酒 qìkxǐjiōe》:結婚の祝い酒を飲む;結婚披露宴に出る。)吃喜酒 = 〈喝喜酒〉
13-229-7、8	但是最近翠芝有一次竟想私自逃走,留下一封信来,说要上海去找事,……。 找事(zāozhí)	(しかし最近翠芝はある時なんとひそかに逃げ出そうとし、一通の手紙を残して、上海へ仕事を探しに行くと言った。…中略…) 找事:仕事を探す。找事 = 〈找工作〉
13-229-13、14	最近有人替她做媒,说一个秦家,是一个财主的少爷,还有人说他是嗜好的。 做媒(zūmé)	(最近彼女に仲人をしてくれる人は、秦家の金持ちの若旦那と言う人も居れば、道楽者だという人も居る。) 做媒:媒酌の労をとる。(前掲「13-228-14、15」に同じ。做媒 = 〈当红娘〉)
13-230-4	翠芝知道她母亲一定是着急起来了,在那儿到处找她。她自管自坐下来,问道:表姊出去了? 管(gēu)	(翠芝は母がきっと心配していて、あっちこちで自分を探していることを知っている。彼女は構わず座り込んで、「義姉さんは出かけられたの?」と聞いた。) 管:構う。(《自管自 zhígēuzhí》前掲「8-124-16」に同じ。)自管自 = 〈自顾自〉)
13-230-11、12	世钧听了她的口吻就有点明白了,她一定是和母亲怄气跑出来的。 怄气(ōeqī)	(世钧は彼女の口ぶりを聞いたらず少しかつた。彼女はきっとお母さんにむしゃくしゃしていたので家を飛び出てきたのだ。) 怄气:むしゃくしゃする。腹を立てる。(前掲「3-35-10」に同じ。)怄气 = 〈生气〉)
13-230-17 ~ 19	世钧便搭讪着笑道:“这狗落到我们家里来也够可怜,也没有花园,也没有人带它出去遛遛。” 搭讪(dāksàe) 遛(liòe)	(世钧は取りとめもない話をしながら笑って、「この犬が我が家に来てとても可哀想で、庭もなければ、散歩に連れて行ってもらえる人も居ない」と言った。) 搭讪:取りとめもない話をする。(前掲「1-10-3」に同じ。)搭讪 = 〈拉话〉 遛:ぶらつく;散歩する。(前掲「9-142-10」に同じ。《遛遛 liòeliòe》は動詞の重ね型の用法。) 遛遛 = 〈溜达溜达〉)
13-230-21 ~ 24	翠芝道:“我打来打去也没有进步。”她说话的声音倒很镇静,跟平常完全一样,但是一面说着话,眼泪就簌簌地落下来了,她别过脸去不耐烦地擦着,但永远擦不干。 打来打去(dānláedānqī) 落下来(lǒkhhóláe) 别(bhík)	(翠芝は「私は何回プレーをしても上達しない」と言った。彼女の声はとても落ち着いており、普段と変わらなかったが、話しながら涙がぼろぼろと落ちてきた。彼女は顔を横に向いていらしながら拭いてはいたが、幾ら拭いていても乾くことができなかった。) 打来打去:何回も球技のプレーをする。 打来打去 = 〈反复打〉 落:落ちる。(《落下来 lǒkhhóláe》は方向補語を附加した用法。)落下来 = 〈掉下来〉 别:(向きを)変える。(前掲「10-168-11、12」に同じ。「别过脸去」は《别过面孔去 bhíkūmīkōn

		qī)にも使われており、方向補語を附加した用法。) 别过脸去 = 〈转过脸去〉
13-231-2、3	新秋的风从窗户里吹进来，桌上那本书自己一页一页掀动着，啪啪作响，那声音非常清脆可爱。 掀动(xìdòn)	(初秋の風が吹いて窓から入ってきて、机の本はひとりで一頁一頁めくられ、ぱらぱらと音を立てていたが、その音は大変はっきりと可愛らしかった。) 掀动:めくる。「掀动着」は《掀动勒 xìdónlèk》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 掀动着 = 〈翻动着〉
13-231-14 ~ 16	沈太太和大少奶奶知道了，当然非常高兴，但也不敢十分露出来，恐怕大家一起哄，他那里倒又要打退堂鼓了。 露(lú) 起哄(qīhòn) 打退堂鼓(dāntāedhángū)	(沈夫人と兄嫁がそれを知り、当然とても喜んでいますが、存分に現すことができなかつた。みんなと一緒に騒いだら、彼がまた前言を翻してしまうことを恐れていた。) 露:現す。《露出来 lúcekláe》は方向補語を附加した用法。) 露出来 = 〈流露出来〉 起哄:騒ぎ出す;冷やかす。(前掲「10-157-9、10」に同じ。) 起哄 = 〈喧嚷〉 打退堂鼓:前言を取り消す。 打退堂鼓 = 〈取消前言〉
13-232-3、4	翠芝只管仰着脸，很费劲地扣她的别针道：“我大概是疰夏，过了一个夏天总要瘦些。” 扣(kōe)	(翠芝はひたすら顔を上に向けて、苦勞して彼女のブローチを付けながら、「多分夏瘦せのせいでしょう。いつもひと夏を過ごせば、少し痩せてしまうわ」と言った。) 扣:付ける。《扣别针 kōebhīkzèn》:ブローチを付ける。《疰夏 zīhhó》は「夏瘦せ」、「夏負け」という意味で上海では夏に良く使われる言葉。) 扣别针 = 〈别别针〉
13-232-15 ~ 17	他和翠芝单独相处的时候，他们常常喜欢谈到将来婚后的情形，翠芝总希望有一天能够到上海去组织小家庭，…… 组织(zūzek)	(彼は翠芝と二人だけで居ると、よく結婚後のことを話し、翠芝がいつかある日上海へ行行って家庭を築けるように願っていた。…中略…) 组织:築く。(《组织小家庭 zūzekxiāojiàdhín》は前掲「10-166-22、23」に同じ。) 组织 = 〈建立〉
13-232-21 ~ 24	结婚前要添置许多东西，世钧打算到上海去一趟，他向翠芝说：“我顺便也要去看看叔惠，……他做起事情来真能做，我真佩服他。” 做(zū)	(結婚する前、多くの物を買入れなければならぬので、世鈞は上海へ行こうと思ひ、翠芝に、「ついでに叔惠を訪ねに行きたい。…中略…叔惠はてきぱきと事に当たり、彼には本当に頭が下がる」と言った。) 做事情:事に当たる。「做起事情来」は《做起事体来 zūqīzhítíláe》にも使われており、方向補語を附加した用法。) 做起事情来 = 〈办起事来〉
13-233-26 ~ 13-234-1	世钧默然点了点头。他们在旷野中走着，杨树浦的工厂都放工了，……	(世鈞は黙ってうなずいた。彼らは広野で歩き続け、楊樹浦にある工場は全部仕事が終わっていた。…中略…)

	放工(fāngòn)	放工:仕事が終わる。放工＝〈下班〉
13-235-13 ~ 15	他笑道：“你看我这人真岂有此理，还没跟你道喜呢，只顾跟你抬杠！” 抬杠(dháegān)	(彼は笑って、「僕ったらまったくあきれてしまうよ。まだ祝福の言葉を述べていないのに、へ理屈を言い合って口喧嘩をしているばかりだった」と言った。) 抬杠:へ理屈を言い合って口喧嘩をする。 抬杠＝〈抬死杠〉
13-235-2、3	世鈞又说起叫他做伴郎的话，叔惠推辞说他动身在即，恐怕来不及参与世鈞的婚礼了。 做(zū) 动身(dhónsèn)	(世鈞はまた彼に、結婚式の時自分の介添え人になってくれないかと頼んだが、叔惠は自分は今もなく出発し、おそらく世鈞の結婚式に出れないだろうと辞退した。) 做:(~を)する。(前掲「11-172-18~20」に同じ。)(《做伴郎 zūphéulán》:男性側の介添えをする。)做伴郎＝〈当伴郎〉〈当傧相〉 动身:出発する。动身＝〈出发〉
13-235-23 ~ 25	可是这次办喜事排场倒不小，先在中央饭店举行婚礼，晚上又在大酒楼排下喜宴。 排(phá)	(しかし、今回の結婚式は非常に豪華であり、先ず中央飯店で結婚式を挙げ、夜にまた立派なレストランで結婚披露宴を開いた。) 排:(~を)催す。(《排下 bháhhó》は結果補語を附加した用法。)排下＝〈摆下〉
13-236-4、5	他是伴郎，照理应当和新郎新娘同席，但是他因为他善于应酬，要借重他招待客人，所以把他安插在另外一桌上。 照理(zāolí) 安插(èucak)	(彼は介添え人であるので、本当ならば新郎、新婦と同席すべきではあったが、彼は応対が得意なので、お客さんへのもてなしをする為、他のテーブルへと配置されていた。) 照理:理屈から言えば。照理＝〈按理〉 安插:配置する。安插＝〈安置〉
13-236-6、7	叔惠划拳的技术实在不大高明，又不肯服输，结果是他喝得最多。 划拳(hhăkjhuéu)	(叔惠はじゃんけんするのがあまり上手ではないし、その上、かぶとを脱ぎたくなかった為、結局一番多く飲んでいて。) 划拳:じゃんけんする。(前掲「3-29-18」《豁拳 hakjhuéu》に同じ。)划拳＝〈猜拳〉
13-236-8~10	后来大家轮流到新人的席上去敬酒，叔惠也跟着起哄，大家又闹着要他们报告恋爱经过。僵持了许久，又有人出来打圆场，叫他们当众换一换手就算了。 起哄(qihòn) 打圆场(dānyhuéuzhán) 换手(càesōe)	(その後、みんな順番で新婚さんの席にお酒を勧めに行ったので、叔惠もみんなと一緒にわいわい野次っていた。みんな、新婚さんに恋愛の経緯を話して欲しいと冷やかしていた。どちらも譲ろうとしなかった為、彼らの間をまるく納めようという人が出てきて、新郎新婦にみんなの前で手をつなげばよしにしようとした。) 起哄:騒ぎ出す;冷やかす;わいわいやじる。(前掲「10-157-9、10」に同じ。)起哄＝〈喧嚷〉 打圆场:AさんとBさんの間をまるく納める。 打圆场＝〈解围〉 换手:握手する。(《换一换手 càeyikcàesōe》は

		動詞の重ね型の用法。) 搥一搥手＝〈握一握手〉
13-236-19 ~ 21	他早跟世钧说好的, 当天就得乘夜车回上海去, 因为马上就要动身到北边去了, …… 动身(dhónsèn)	(彼はすでに世鈞に言ったように、当日夜行列車に乗って上海に戻り、もうすぐ北のほうへ行かねばならないからだ。…中略…) 动身: 出発する。(前掲「11-235-13~15」に同じ。) 动身＝〈出发〉
13-236-23 ~ 25	本来挤满了一屋子的人, 都走了, 照理应当显得空阔得多, 但是恰巧相反, 不知道为什么反而觉得地方变狭小了, …… 照理(zāoli)	(今まで、部屋にぎっしりだった人はみんな帰ってしまったので、理屈から言えば部屋がかなり広々となるはずだが、しかしまさしくその逆であり、何故か分からないが、却って場所が狭くなったように思えた。…中略…) 照理: 理屈から言えば; (前掲「13-236-4、5」に同じ。) 照理＝〈按理〉
13-237-19、20	世钧想了一想, 道: “不知道。倒没留心。——” 留心(lióexìn)	(世鈞は少し考えて、「知らなかった。気がつかなかった——」と言った。) 留心: 気がつく。留心＝〈注意〉
13-237-22、23	世钧道: “我一点也不困, 大概话说多了, 反而提起神来了。……” 提神(dhízhén)	(世鈞は「僕は全然眠くない。多分話をし過ぎて、却って眠気を覚ましてしまったようだ」と言った。) 提神: 眠気を覚ます。(《提起神来 dhíqīzhénlái》は方向補語を附加した用法。) 提起神来＝〈提起精神来〉
13-237-25、26	翠芝继续刷头发, 刷完头发, 又把首饰一样样脱下来收在梳妆台抽屉里。 刷(sak) 脱(tek)	(翠芝は引き続き髪を梳いて、梳き終わったらアクセサリーを一つずつ外して鏡台の引き出しの中にしまっていた。) 刷: ブラッシングする。(《刷头发 sakdhóefak》: 髪をブラッシングする。刷头发＝〈梳头发〉) 《刷完 sakhhéu》は結果補語を附加した用法。) 刷完＝〈梳完〉 脱: 外す(《脱下来 tekhhólái》は方向補語を附加した用法。) 脱下来＝〈解下来〉
13-238-25 ~ 13-239-1	他在她耳边喃喃地说着安慰她的话, 其实他自己心里也和她一样的茫茫无主。他觉得他们象两个闯了祸的小孩。 闯祸(cānhú)	(彼は彼女の耳元でむにやむにやと慰める言葉をかけていたが、実は彼の心中には彼女と同じように茫然自失となっていた。彼は二人が災いを招いてしまった子どものようにだと感じた。) 闯祸: 災いを招く。闯祸＝〈招致灾祸〉
14 章-239 頁 -10、11 行	她主张送医院, 可是祝家一直延挨着, 不放心让曼桢走出那个大门, …… 延挨(yhí'ài)	(彼女は〈曼楨を〉病院に入れようと考えていたが、祝家はずっと遅らせており、曼楨が家の門を出ることを心配していた。) 延挨: 遅らせる。(前掲「3-28-3」に同じ。) 延挨＝〈推迟〉
14-239-13 ~ 15	可是刚巧头二等病房都客满了, 再换一家医院又怕耽误时间, 结	(しかし、運悪く二等病室はどれも満員で、他の病院を変えると時間の無駄になると心配していた

	果只好住了三等病房。 客满(kè mǎn)	ので、仕方なく三等病室に入院することにした。)客满:患者又は客で満員である。客满＝〈住満〉
14-240-24 ~ 26	孩子丢给她姊姊倒不用担心, 她姊姊不会待亏他的, 不是一直想要一个儿子吗? 待亏(dài kuī)	(子どもを姉に残すことは心配する必要がない。姉は坊やを粗末にするはずがない。ずっと一人の男の子が欲しかったのではなかったの?)待亏:粗末にする。待亏＝〈慢待〉
14-241-11 ~13	这女人的声音听上去很年轻, 她却已经是四个孩子的母亲了, 她丈夫姓蔡, 她叫金芳, 夫妻俩都在小菜场摆蛋摊度日。 听(tīng) 摆(bāi)	(この女の声はとても若く聞こえるが、すでに四人の子どもの母親である。夫は蔡と言ひ、彼女は金芳と言ひ、夫婦は食材市場で玉子販売の露店を出して生計を立てている。)《小菜场 xiǎocāezhǎn》は上海では食材市場のことを指す。＝〈菜市〉 听:聞く。(《听上去 tīngshàngqǐ》は方向補語を附加した用法。)听上去＝〈听起来〉 摆:並べる。(《摆蛋摊 bāidāntān》:玉子売りの露店を出す。摆蛋摊＝〈卖鸡鸭蛋〉)
14-241-14 ~ 16	蔡金芳道:“没关系的。此地的看护顶坏了, 求她们做点事情就要象叫化子似的, ‘小姐小姐’叫得震天响。我真恨伤了, ……” 恨伤(hèn shāng)	(蔡金芳は「大丈夫だわ。こちらの看護婦はまったくひどいものだ。彼女たちにやってもらいたいことがあると、乞食のように‘お嬢さん、お嬢さん’と大声で呼ばなければならない。憎み骨髄に達した。…中略…」と言った。)《顶坏 dīnghuài》:極めて悪い。＝〈最坏〉 恨伤:憎み骨髄に達する。恨伤＝〈恨透〉
14-241-26~ 14-242-1	窗外是墨黑的天, 天上面嵌着白漆色窗棂的白字架。 嵌(kāi)	(窓の外は真っ黒な空であり、窓の格子は空に白いペンキで十字架が嵌めこんでいるようであった。)嵌:嵌めこむ。(「嵌着」は《嵌勒 kāilè》にも使われており、動態助詞を附加した用法。)嵌着＝〈鑲着〉
14-242-12 ~ 14	……这里没有镜子, 无法看见自己的脸, 但是她可以看见她的一双手现在变得这样苍白, 手腕瘦得象柴棒似的, 一只螺螄骨高高地顶了起来。 顶(dǐng)	(…中略…こちらには鏡がないので、自分の顔を見ることができない。しかし、彼女は自分の両手がこんなに青白くなり、腕は柴のようにひどく痩せており、手の付け根の骨が突き上がっていることを見ることができる。)顶:突き上がる。(《顶起来 dǐngqǐlái》は方向補語を附加した用法。)顶起来＝〈撐起来〉
14-242-15 ~ 17	只要两只脚稍微有点动, 下地能够站得住, 她就悄悄地自己溜出去了, 但是她现在连坐起来都觉得头晕, 只恨自己身体不争气。 溜(liū) 坐(zuò) 争气(zhēngqì)	(両足を僅かに動かささえすれば、地面に下りて立っていられたので、彼女は自分でこっそり外へ抜け出した。しかし、彼女は今ベットの上に起き上がっていてさえも頭がふらふらしているので、自分の体を情けないと恨めしく思うばかりだった。)溜:こっそり抜け出す。(前掲「10-167-1~3」に

		<p>同じ。《溜出去 liù<sup>ˋ</sup>chūq<sup>ˋ</sup>》は方向補語を附加した用法。)溜出去 = 〈偷偷地出去〉</p> <p>坐：座る。《坐起来 zhú<sup>ˋ</sup>qǐ<sup>ˋ</sup>lái》は方向補語を附加した用法。)</p> <p>争气：(人に負けまいと)頑張る。(「不争气」は《勿争气 wè<sup>ˋ</sup>kzàn<sup>ˋ</sup>qǐ》にも使われている。)</p> <p>不争气 = 〈没出息〉</p>
14-243-3~5	<p>金芳道：“你这话一点也不错。我刚才叫气昏了，其实象我们这样做小生意的人，吃巡捕的苦头还没有吃够？我还有什么不晓得——……”</p> <p>气(qǐ) 吃(qīk) 晓得(xiāodek)</p>	<p>(金芳は「全くおっしやる通りだわ。さっき、腹が立って頭が可笑しくなったから。実は、私たちのようなちよつとした商売をしている人間は巡査に辛い目に合わせたのはもう沢山だ。そのようなことを知り尽くしているわよ——……」と言った。)</p> <p>气：腹を立てる。《气昏 qǐhuèn》は結果補語を附加したの用法。)气昏 = 〈气得神志不清〉</p> <p>吃：(苦勞)する。吃苦头 = 〈吃苦〉</p> <p>晓得：(前掲「7-104-25」に同じ。「不晓得」は《勿晓得 wè<sup>ˋ</sup>kxiāodek》にも使われている。)</p> <p>不晓得 = 〈不知道〉</p>
14-243-8~11	<p>金芳听了这话，似乎又对她多了几分敬意，便道：“……你走不动叫他搀搀你好了。”</p> <p>搀(càe)</p>	<p>(金芳はこの話を聞いたら彼女に対する敬意が幾分増えたようで、「…中略…歩けなくなったら夫に体を支えてもらえば良いのだ。」と言った。)</p> <p>搀：手を貸す；体を支えてやる。(前掲「9-149-13、14」に同じ。《搀搀 càecàe》は動詞の重ね型の用法)搀搀 = 〈扶扶〉</p>
14-243-12、13	<p>金芳笑了一声道：“他们要来寻着我正好，我正好辣辣两记耳光打上去。”</p> <p>寻(xhín) 打(dān)</p>	<p>(金芳は一度笑って、「彼らが私を捜しにきたらもってこいだ。その時二回こっぴどいビンタを食らわしたいものだ」と言った。)</p> <p>寻：捜す。《寻着 xhínzhèk》は、結果補語を附加した用法。)寻着 = 〈找到〉</p> <p>打：打つ；殴る。《打上去 dānzhànqǐ》は方向補語を附加した用法。)打上去 = 〈打过去〉</p>
14-243-15、16	<p>金芳又道：“不过就是你才生了没有几天工夫，这样走动不要带了毛病。”</p> <p>生(sàn) 带(dā)</p>	<p>(金芳はまた、「だけど出産してまだ何日も経っていないもので、このように体を動かしたら何かの持病となってしまうたらいけない」と言った。)</p> <p>生：出産する。《「生了没有几天工夫」は《生勒哧没几天工夫 sànlèkmmèkjītīkònfù》にも使われている。)</p> <p>生了没有几天工夫 = 〈生孩子生了没有几天〉</p> <p>带：付く。带毛病 = 〈得病〉</p>
14-243-24、25	<p>曼璐拎着一只食篮，她每天都要煨了鸡汤送来的。</p> <p>拎(līn) 煨(wē)</p>	<p>(曼璐は一つお惣菜用のかごを提げており、彼女は毎日煮込んだ鶏のスープを届けに来ることになっている。)</p> <p>(「拎着」は《拎勒 līnlèk》にも使われており、動態</p>

		助詞を附加した用法。)拎着＝〈提着〉 煨:とろ火で煮込む。(前掲「4-53-3」に同じ。《煨汤 wētàn》:スープをとろ火で煮込む。) 煨汤＝〈煮汤〉
14-244-8、9	夫妻俩逗着孩子玩，孩子呱呱地哭了，曼璐又做出各种各样奇怪的声音来哄他。 做(zū) 哄(hōn)	(夫婦で子どもをあやして、子どもがわあと泣いたので、曼璐はさまざまな声を真似て坊やの機嫌を取っていた。) 做:(～を)する。(前掲「11-175-25、26」に同じ。《做出 zūcek》は結果補語を附加した用法。) 做出＝〈学做〉 哄:機嫌をとる;あやす。(前掲「12-195-12、13」に同じ。)哄＝〈逗〉〈讨好〉
14-244-11、12	曼璐道：“不行呀，今天验了又说是沙眼。”夫妻俩只是一吹一唱，…… 验(ní) 一吹一唱(yīkūiyīcān)	(曼璐は「だめになったわ。今日の検査でまたトラホームにかかっていると聞いた」と言った。夫婦は互い同調するばかりだった。…中略…) 验:検査する。验＝〈検査〉 一吹一唱:一人が言うともう一人がそれに同調すること。一吹一唱＝〈一唱一合〉
14-244-13 ～ 15	曼璐呆了一呆，便轻声向鸿才道：“二妹嫌吵的慌。你先走吧。”鸿才懊丧地转身就走，曼璐却又赶上去，钉住了他低声问：“你预备上哪儿去？” 嫌(yhí) 钉(dìn)	(曼璐はしばらくぼかんとして、すぐ声を抑えて鴻才に、「妹がとても騒がしいと嫌がっている。先、帰ってください」と言った。鴻才はがっかりして向きを変えてすぐ出て行ったが、曼璐は追いかけて、彼の顔をじっと見つめ、抑えた声で、「どこへ行くつもりなの？」と聞いた。) ここでの《预备 yhúbhé》は助動詞の用法。 嫌:嫌う;嫌がる。(前掲「11-184-18～20」に同じ。)嫌＝〈讨厌〉 钉:ここでは「釘」と同じで、じっと見つめるという意味。(「钉住」は《钉牢 dīnláo》にも使われており、結果補語を附加した用法。)钉住＝〈凝视住〉
14-244-24 ～ 26	曼璐笑道：“咦，倒已经晓得喜欢红颜色了！”孩子把花抓在手里，一个捏不牢，那朵花落在曼楨枕边。 晓得(xiāodek) 捏(niǎk)	(曼璐は笑って、「もう赤い色が好きということが分かっているね」と言った。子どもは花を手で掴んではいたが、ちょっと掴みきれず、花は曼楨の枕の方へ落ちていた。) 晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得＝〈懂得〉〈知道〉 捏:掴む。(「捏不牢」は《捏勿牢 niǎkvèkláo》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 捏不牢＝〈抓不住〉
14-245-6～8	曼璐不知道她的心理。在旁边看着，却高兴起来，以为曼楨终于回心转意了，不过一时还下不下这个面子，转不过口来；在这要	(曼璐は彼女の気持ちが分からず、隣りで見て、何だか嬉しくなってきた。曼璐は曼楨がようやく思い直して気持ちを改めたが、すぐには引込みがつかず、言い直せなくて、このような大事な

	<p>紧关头，自己说话倒要格外小心才是，不要又触犯了<u>她</u>。 回心转意(hhuéxìnzēuyī) 下(hhó) 转(zēu) 触犯(cokvâe)</p>	<p>時、話し方は特に気をつけねばならず、また彼女の気に触ってはならないと思っていた。) 回心转意:思い直して態度を改める。 下:引込む。「下不下」は《下勿下 hhóvèkhhó》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 下不下 = 〈下不了〉 转:変える。「转不过口来」は《转勿过口来 zēuvèkgūkōelâe》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 转不过口来 = 〈无法改说〉 触犯:気に触る。触犯 = 〈触怒〉</p>
14-245-23、24	<p>医院里一个工役拿着把扫帚来扫地，瑟瑟地扫着，渐渐扫到这边来了，分明有些<u>逐客</u>的意味。 逐客(zhōkkek)</p>	<p>(病院にはある雑役の人が箒を持って地面を掃く為やってきて、さっさと、次第にこちらに掃いてきて、明らかに追い出そうとしている。) 逐客:客を追い払う。(《逐客令 zhōkkeklin》にも使われている。) 逐客 = 〈赶人走〉</p>
14-246-16 ~ 18	<p><u>穿孔</u>齐整，倒已经累出一身汗来，站在地上，两只脚虚飘飘好像踩在棉花上似的。她<u>扶墙摸壁</u>溜到屏风那边去，霖生<u>搀</u>着她就走。 穿孔(cēuzek) 扶墙摸壁(vújhíánmokbik) 溜(lièe) 搀(càe)</p>	<p>(服装を整えたら、もう疲れて全身汗びっしょりになり、二本の足の重みがなく、ふわふわと綿の上を踏んでいるようだった。彼女は手で壁を支えているようだった。彼女は手で壁を支えて屏風のほうへ行きそっと忍び込んで、霖生は彼女を手で支えながらすぐ出て行った。) 穿孔:身なり。穿孔齐整 = 〈穿着齐整〉 扶墙摸壁:手で壁を支える。 溜:そっと忍び込む。こっそり抜け出す。(前掲「10-167-1~3」に同じ。《溜到 lièedāo》は結果補語を附加した用法。) 溜到 = 〈偷偷地跑到〉 搀:手を貸す。体を支えてやる。(前掲「9-149-13、14」に同じ。「搀着」は《搀勒 càelèk》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 搀着 = 〈扶着〉</p>
14-247-18 ~ 20	<p>那小女孩买了<u>炆饼</u>回来，和弟妹们分着吃，又递了一大块给曼楨，<u>搁</u>在桌沿上。曼楨便叫她把桌上一只镜子递给她，拿着镜子照了照，自己简直都不认识了，两只颧骨<u>撑</u>得高高的。 搁(gok) 撑(càn)</p>	<p>(あの女の子は炆餅を買ってきて、弟や妹たちと分けて食べていて、一つ大きなほうを曼楨に上げ、テーブルの角のほうに置いた。曼楨は女の子にテーブルの鏡を持ってきて頼んだ。鏡でちよっと写してみたら、まるで自分で自分が分からなくなったくらいに、両方の頬骨がとても高くあがっていた。) 炆餅 qiānbīnとは、練った小麦粉をパイ作りの要領で、サラダオイルに葱と少量の塩で、両面をフライパンで焼いた食べ物。上海人が朝食の時に好んで食べる点心でもある。 搁:置く。(前掲「9-139-14」に同じ。「搁在」は《搁勒 goklèk》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 搁在 = 〈放在〉</p>

		<p>撑:突きあがる。(《撑得高高 cāndekgàogào》は様態補語を附加した用法。)</p> <p>撑得高高 = 〈顶得高高〉</p>
14-274-21 ~ 23	<p>她向镜子里呆望了许久，自己用手<u>扒梳</u>着头发，偏是越急越<u>梳</u>不通。</p> <p>扒梳(bhósi) 梳(sì)</p>	<p>(彼女は鏡を長らくぼんやりと見て、自分の手で髪をかいていたが、焦れば焦るほど髪が通せなかった。)</p> <p>扒梳:手で髪をかき通す。「扒梳着」は《扒梳勒 bhósilék》にも使われており、動態助詞を附加した用法。)扒梳着 = 〈用手梳着〉</p> <p>梳:髪を梳く。「梳不通」は《梳勿通 sivèktòn》にも使われており、可能補語を附加した用法。)</p>
14-247-13 ~ 17	<p>……曼桢一定逼着她要她收下这笔钱，金芳便<u>自作主张</u>，叫霖生去剪了几尺布呢，配上里子，交给弄口的裁缝店，替曼桢做了一件夹袍子，不然她连一件衣服也没有。留下的钱金芳依然还了她，曼桢<u>拗</u>不过她，也只好拿着。</p> <p>自作主张(zhízokzìzàn) 拗(āo)</p>	<p>(…中略…曼桢はどうしても彼女にこのお金を受け取って欲しいと強く勧めた。その故、金芳は独断で霖生に何尺の生地を買いに行かせ、裏地も付けて、横町の入り口にある仕立て屋に曼桢の為に裏地付きの袍子を仕立ててもらった。そうでもしなければ曼桢は一枚の服でさえも持っていなかった。金芳は残った金を曼桢に返し、曼桢は彼女の意思を曲げることができず、仕方なく受け取った。)</p> <p>自作主张:独断する。(上海語では《作 zók》と《做 zū》との発音が異なるので、標準語と違って、「自做主张」の使用は不可。)</p> <p>拗:(腕相撲を)する。ここでは(他人の頑固な意見を)曲げるという意味。「拗不过」は《拗勿过 āovekgū》にも使われており、可能補語を附加した用法。)拗不过 = 〈譬不过〉</p>
14-250-25、26	<p>她<u>拣</u>了个星期六的傍晚到许家去，因为那时候叔惠在家的机会比较多些。</p> <p>拣(gāe)</p>	<p>(彼女はある土曜日の晩を選んで許家に行った。その時間帯は叔恵が家に居ることが多いからだ。)</p> <p>拣:選ぶ。(前掲「2-22-25」に同じ。)拣 = 〈挑选〉</p>
14-251-15	<p>当下她接过茶喝了一口，便<u>搭讪</u>着和叔惠的妹妹说话。</p> <p>搭讪(daksàe)</p>	<p>(彼女はすぐお茶をもらい、一口を飲んで、叔恵の妹と取りとめもない話をした。)</p> <p>搭讪:取りとめもない話をする。(前掲「1-10-3」に同じ。)搭讪 = 〈拉话〉</p>
14-251-25~ 14-252-1	<p>她又问他父母可知道他去，叔惠道：“我母亲我预备暂时<u>瞒</u>着她，我叫我父亲等我走了之后再告诉她。现在我就跟她说是到北方去<u>做事</u>。”</p> <p>瞒(mēu) 做事(zūzhí)</p>	<p>(彼女はまた叔恵にご両親は彼が行くことを知っているかどうかを聞き、叔恵は「母には暫く隠すつもりで、父に僕が行ってから言うように頼んだ。いま母に北のほうへ仕事しに行くと言っているだけだ」と言った。)</p> <p>ここでの《预备 yhubhé》は助動詞の用法。</p> <p>瞒:隠す。(前掲「11-175-24、25」に同じ。「瞒着」は《瞒勒 mēulek》にも使われており、動態助</p>

		詞を附加した用法。)瞒着＝〈隐瞒着〉 做事:仕事をする。家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。)做事＝〈工作〉
14-252-11～13	她端起茶杯来喝茶，因 <u>搭讪</u> 着四面看了看，笑道：“这屋子怎么改了样子了？” 搭讪(daksàe)	(彼女は湯呑みを持ち上げてお茶を飲み、取りとめもない話をしながら周りを見ていて、「この部屋はどうして様子が変わったの？」と笑って言った。)搭讪:取りとめもない話をする。(前掲「1-10-3」に同じ。)搭讪＝〈拉话〉
14-253-4～6	曼桢两只手 <u>揪</u> 在窗台上，只觉得那窗台一阵阵波动着，自己也不明白，那坚固的木头怎么会变成象波浪似的， <u>捏</u> 都 <u>捏</u> 不牢。 揪(qīn) 捏(niǎk)	(曼桢は両手で窓台を押さえつけているが、窓台がフラフラと揺れ動いているのを感じて、そのような丈夫な木がどういう訳か分からないが、波のようになってしまって、掴もうと思っても掴むことができない。)揪:押さえつける。(前掲「12-207-23～25」に同じ。《揪在 qīnzhái》は結果補語を附加した用法。)揪在＝〈按在〉 捏:掴む。(前掲「14-244-24～26」に同じ。「捏不牢」は《捏勿牢 niǎkvekhláo》にも使われており、可能補語を附加した用法。)捏不牢＝〈抓不住〉
14-253-12、13	曼桢当然想着他是因为他晓得她和世钧的关系，她却不知道他自己也是满怀抑郁，因为翠芝的缘故。 晓得(xiāodek)	(曼桢は当然彼が自分と世鈞との関係を知っているが、しかし、曼桢は彼も翠芝の原因で、胸を鬱憤で満たしていることを知らなかった。)晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。)晓得＝〈知道〉
14-253-24	她在街灯下走着，走了许多路才想起来应当 <u>搭</u> 电车。 搭(dak)	(彼女は街灯の下を歩き、長い道のりを歩いてからやっとバスに乗らなければならないと気づいた。)搭:乗る。(《搭电车 dakdhicò》:バスに乗る。)搭电车＝〈坐电车〉
14-254-9～11	刚才在叔惠家里听到他的消息，她当时是好像开刀的时候 <u>上</u> 了麻药， <u>糊里糊涂</u> 的，倒也不觉得怎样痛苦，现在方才渐渐苏醒过来了，那痛苦也正式开始。 上(zhán) 糊里糊涂(hhúlihúdhú)	(さっき、叔惠の家で彼の消息を聞いた時、彼女はまるで手術する為麻酔を打たれたようで、訳が分からず、それほど辛くもなかった。しかし、今となってやっと段々と目が醒めてきて、その苦しみが始まったようだ。)上:(薬を)打つ。(《上麻药 zhánmóyhiǎk》:麻酔を打つ。)上麻药＝〈打麻醉药〉 糊里糊涂:訳が分からない。 糊里糊涂＝〈昏头昏脑〉
14-254-21、22	杨家他们只晓得她因为患病，所以失业了，家里的人都回乡下去了，只剩她一个人在上海。 晓得(xiāodek)	(楊家の一家は、彼女が病気になった為失業してしまい、家族はみんな田舎に帰り、彼女一人だけが上海に居残っているということだけを知っている。)

		晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得=〈知道〉
14-254-25、26	杨太太大概觉得很奇怪，她母亲怎么会不晓得。 晓得(xiāodek)	(楊夫人は恐らくとても不思議に思っていた。どうして彼女のお母さんが知らなかったのか。) 晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。「不晓得」は《勿晓得 vēkxiāodek》にも使われている。) 不晓得=〈不知道〉
14-255-22 ~ 26	顾太太道：“我知道你要怪我的。我也是因为晓得你性子急，……其实叫我说，你也还是太倔了，你将来这样下去怎么办呢？” 晓得(xiāodek) 下去(hhóqī)	(顧夫人は「わたしが責められることを知っている。あなたのせっかちな性格もよく知っているからこそそのようにしたんだ。…中略…実は私に言わせると、貴女は強情すぎて、これからも今のよう暮らし方をし続けたらどうしたら良いだろうか？」と言った。) 晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得=〈知道〉 下去:〜し続ける。下去=〈生活下来〉
14-256-3~6	顾太太又自言自语道：“……养下来的时候那么瘦，现在长的又白又胖。” 养(yhián)	(顧夫人はまた、「…中略…赤ん坊が生まれた時にはこんなにも痩せていたが、今、色白く、まるまる太っているように育っている」と独り言を言った。) 养:生まれる。(《养下来 yhiánhhóláe》は方向補語を附加した用法。)养下来=〈生下来〉
14-256-8	学校里当当打起钟来，要吃午饭了。 打(dān)	(学校ではご〜ん、ご〜んと鐘を鳴す音がしてきて、まもなく昼ご飯の時間だ。) 打钟:鐘を鳴らす。(《打起钟来 dānqīzònláe》は方向補語を附加した用法。) 打起钟来=〈敲起钟来〉
14-256-19 ~ 24	有一天下午，她没事做，坐着又冷，就钻到被窝里去睡中觉。……风吹着那绳子，吹起来多高，那绳子的影子直窜到房里来，就象有一个人影子一晃。曼楨突然惊醒了。 钻(zèu) 窜(cèu)	(ある日の午後のこと。彼女はやることはないが、座っていると寒いので布団の中に潜り込んで昼寝をすることにした。…中略…あの紐が風に吹かれていて、とても高くまで吹き上げられて、その影はまっすぐに部屋へ人の影のように一瞬ちらりとしたようだった。曼楨は突然驚いて目が醒めた。) 钻:潜る。(《钻到 zèudāo》は結果補語を附加した用法。)钻到=〈睡到〉 窜:走り回る。(《窜到 cèudāo》は結果補語を附加した用法。)窜到=〈跑到〉
14-257-2~6	她定了定神，急忙披衣起床，这些人都已经走了进来，阿宝和张妈搀着曼璐，后面跟着一个奶奶，抱着孩子。阿宝叫了声“二小姐”，也来不及说什么，就将曼	(彼女は少し気を落ち着かせて、急いで服を羽織って起きて来ると、その人たちはもう入って来た。阿宝と張ばあやは曼璐の体を支えてやって、乳母が子どもを抱いて後についてきた。阿宝は“お嬢さん”と声をかけて話をする間もない程、す

	<p>璐挟到床上去，把被窝堆成一堆，让她靠在上面。</p> <p>定神(dhínzhén)</p> <p>搀(càe)</p> <p>挟(jík)</p>	<p>ぐに曼璐を小脇に抱えてベットへ連れて行って、布団を積み上げて、その上に寄りかかるようにさせていた。)</p> <p>定神: 気を落ち着かせる。(「定了定神」は《定勒定神 dhínlèkdhínzhén》にも使われており、動詞の重ね型の過去形の用法。)</p> <p>搀: 手を貸す; 体を支えてやる。(前掲「9-149-13、14」に同様。「搀着」は《搀勒 càelèk》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 搀着 = 〈扶着〉</p> <p>挟: 小脇に抱える。《挟到 jík dāo》は結果補語を附加した用法。) 挟到 = 〈抱到〉</p>
14-257-9、10	<p>阿宝替她把手和脚摆摆好，使她坐得舒服一点。</p> <p>摆(bā)</p>	<p>(阿宝は彼女に座り心地をよくさせる為、手と足の姿勢をきちんと整えさせた。)</p> <p>摆: 整える。《摆摆好 bābāhāo》は動詞の重ね型の用法。) 摆摆好 = 〈放放好〉</p>
14-257-13、14	<p>孩子穿着一套簇新的枣红毛绒衫裤，仿佛是特别打扮了一下，带来给曼楨看的，脸上还扑了粉，……</p> <p>扑(pōk)</p>	<p>(子どもは真新しいえび茶色の上下揃ったウールのセーターとズボンを身に着けており、曼楨に見せる為わざわざ着飾っていたようだった。また、顔におしろを塗っていた。…中略…)</p> <p>扑: 塗りつける。《扑粉 pōkfēn》: おしろを塗りつける。) 扑粉 = 〈擦粉〉</p>
14-258-2、3	<p>曼璐又道：“我讲你不信，其实是真的：鸿才他就是佩服你，……”</p> <p>讲(gān)</p>	<p>(曼璐はまた、「私が言っても信じてくれないが、本当のことだけと、鴻才は絶対貴女のことに感心している。…中略…」と言った。)</p> <p>讲: 話す。讲 = 〈说〉</p>
14-258-5、6	<p>曼璐道：“那么不去说他了，就看这孩子可怜，我就要死了他该多苦，孩子总是你养的。”</p> <p>养(yhián)</p>	<p>(曼璐は「それでは、それを言うのをやめよう。この子どもを可哀相と申して下さい。私はもうすぐ死ぬから、この子は何と惨めでしょう。何と言っても子どもは貴女が産んだのであろう」と言った。)</p> <p>养: 産む。养 = 〈生〉</p>
12-196-20、21	<p>曼楨实在不想抱那孩子，因为她不愿意在曼璐面前掉眼泪。但是曼璐只管气喘吁吁地把孩子掙了过来。</p> <p>掙(ò)</p>	<p>(曼楨はどうしてもこの子を抱きたくなかったのは、曼璐の前で涙を流したくなかったからだ。しかし、曼璐はひたすら息をせき切ったまま子どもを押し付けてきた。)</p> <p>掙: 押し付ける。(前掲「12-213-5、6」に同じ。《掙过来 ògūláe》は方向補語を附加した用法。) 掙过来 = 〈硬塞过来〉</p>
14-258-24～14-259-1	<p>曼楨实在不能忍受了，……把汽车上的阿宝和张妈叫出来，叫她们来搀曼璐下楼。</p> <p>搀(càe)</p>	<p>(曼楨はどうしてもこれ以上我慢することができなかった。…中略…車の中に居る阿宝和张ばあやを呼んで来て、彼女たちに曼璐の体を支えてやって下へ行くようにさせていた。)</p>

		<p>搀: 体を支えてやる。(前掲「」9-14913、14)に同じ。《来搀 <i>láecāe</i>》は連動文の用法。) 搀 = 〈扶〉</p>
14-259-14、15	<p>她从前学过会计的。找到事又找房子，分租了人家一间房间，二房东姓郭。 找(zāo)</p>	<p>(彼女は以前経理を習ったことがあり、仕事を見つけてからまた家を探した。家を又貸する者から借りており、その人は郭という名前だ。) 找: 見つける。(《找到 <i>zāodǎo</i>》は結果補語を附加した用法。) 找到事 = 〈找到工作〉</p>
14-260-5~7	<p>阿宝道：“喏，就是那次到您学校里去，后来不到半个月呀。”说着，竟眼圈一红，落下两点眼泪。 落(lǒk)</p>	<p>(阿宝は「ほれ、その時貴女の学校に行ってから半月も経たなかった」と言った。阿宝は言いながら何と今にも泣き出そうになり、二粒の涙が流れていた。) 落: 落ちる。(《落泪 <i>lǒkgháeli</i>): 涙が落ちる。《落下 <i>lǒkhhó</i>》は方向補語を附加した用法。) 落泪 = 〈掉眼泪〉/ 落下 = 〈掉下〉</p>
14-260-11 ~ 15	<p>曼桢却不想多谈，便道：“你有事你还是去吧，不要耽搁了你的事。”阿宝也觉得曼桢对她非常冷淡，想来总是为了从前那只戒指的事情，便道：“……——你晓得后来为什么不让我到你房间去了？” 耽搁(<i>dàegok</i>) 晓得(<i>xiāodek</i>)</p>	<p>(曼桢はこれ以上多く話したくなかったので、「ご用があるでしょう。お帰り下さい。用事を行うのが遅れてはならないでしょう」と言った。阿宝も曼桢が自分に対してとても冷たいと感じていて、以前あの指輪のことの為だろうと思って、「…中略…その後、何故私を貴女の部屋へ行かせなかったかをご存知ないでしょう?」と言った。 耽搁: 遅らせる。(前掲「10-154-5~7」に同じ。) 耽搁 = 〈耽误〉 晓得: 知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉</p>
14-260-19、20	<p>“……这周妈专门会拍马屁，才来了几个月就把奶妈戳掉了，小少爷就归她带着。” 戳(<i>cok</i>)</p>	<p>(「…中略…周ばあやがごますりばかりして、来月から何ヶ月も経たない内に乳母を締め出して、お坊ちゃんに彼女が世話することになっていた。) 戳: 締め出す。(「戳掉」は《戳脱 <i>coktek</i>》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 戳掉 = 〈排挤掉〉</p>
14-260-25~ 14-261-1	<p>她显然是很气愤，好象憋着又说：“姑爷这一向做生意净蚀本，所以脾气更坏了，家当横是快蚀光了，虹桥路的房子也卖掉了，现在他们搬了，就在大安里。……他自己横是也懊悔了，……” 蚀本(<i>zhěkbēn</i>) 蚀光(<i>zhěkguàn</i>) 懊悔(<i>àohuē</i>)</p>	<p>(彼女はとても憤慨し、息を詰まらせたように、また「旦那さんはこの頃商売しても損するばかりなので、気短な性格が余計ひどくなった。財産はどうせもうすぐすっからかんになってしまい、虹桥路の家も売り、いま彼らは引っ越して、大安里に住んでいる。…中略…旦那さんはやはり自分自身も後悔している。…中略…」と言った。) 蚀本: 資本を損する。(《蚀光 <i>zhěkguàn</i>》は結果補語を附加した用法。) 蚀本 = 〈赔本〉/ 蚀光 = 〈赔光〉 懊悔: 後悔する。懊悔 = 〈后悔〉</p>
14-261-7~9	<p>阿宝究竟还知趣，就没有再往下</p>	<p>(阿宝は結局物分りの良い人なので、それ以上</p>

	说, 转过口来问道: “二小姐现在住在这儿?” 曼桢只含糊地应了一声, 就转问她: …… 知趣(zhīqū) 转(zhuǎn) 转问(zhuǎnwèn)	続けなかったが、話題を変えて、「お嬢さんはここに住んでいるの?」と聞き、曼桢は曖昧な返事しかせず、すぐ阿宝に「…中略…」と聞き返した。 知趣: 物分りが良い。知趣 = 〈识相〉 转: 変える。《《转过口来 zhuǎnguǒkǒulái》》は方向補語を附加した用法。《《转过口来》》 = 〈换个话题〉 转问: 聞き返す。转问 = 〈反问〉
14-262-18 ~ 20	走进, 两旁都是石库门房子, 正中停着个臭豆腐干担子, 挑担子的人叉着腰站在稍远的地方, 拖长了声音吆喝着。 叉腰(chāyāo)	(中に入ると、両側が石庫門の家で、真ん中に臭豆腐の商売用の天秤棒が置かれている。物売りが両手を腰に当て少し離れている所で物売り声を出して売っていた。) 叉腰: 両手を腰に当てる。「叉着腰」は《《叉勒腰 chālēyāo》》にも使われており、動態助詞を附加した用法。《《叉着腰》》 = 〈撑着腰〉
14-263-11 ~ 18	招弟一共买了三块, 穿在一根稻草上, 拎在手里吃着。她弟弟也想吃, 他踮着脚, 两只手扑在她身上, 仰着脸咬了一口。曼桢心里想这一口吃下去, 一定辣得眼泪出。喉咙也要烫坏了。她不知不觉替他捏一把汗。……曼桢看着她那孩子的傻相, 不由得要笑, 但是一面笑着, 眼眶里的泪水已经滴下来了。 拎(līn) 扑(pū) 烫坏(tānhuài) 捏(niē) 滴(dī)	(招弟は全部で三切れ買い、1本の稲わらに通して、手を提げて食べている。弟も食べたくて、つま先で立つと、両手で招弟に飛び込んで顔を上に向けて一口食べさせてもらった。曼桢はあの子がこの一口を食べるときと涙が出て、喉をやけどした位辛いだらうと思っていたので、思わず手に汗を握っていた。…中略…彼女は自分の子のへらへら笑っている顔を見て思わず笑いたくなかったが、しかし、笑いながら、目から涙が落ちてきた。) 拎: 手を提げる。《《拎在 līnzài》》は結果補語を附加した用法。《《拎在》》 = 〈拿在〉 扑: 飛び込む。《《扑在 pūzài》》は結果補語を附加した用法。《《扑在》》 = 〈拿在〉 烫坏: やけどをしてしまう。(結果補語を附加した用法。《《烫坏》》 = 〈辣坏〉 捏: 握る。《《捏一把汗 niēyībǎhàn》》: 手に汗を握る。) 滴: 落ちる。《《滴下来 dīxiàlái》》は方向補語を附加した用法。《《滴下来》》 = 〈落下来〉
14-264-5~6	……她端了一只长凳坐在后门口摘菜, …… 端(duān)	(…中略…彼女は一つ長い腰掛を出して、勝手口に座って野菜の要らない部分を取り除いていた。…中略…) 端: 出す。端 = 〈拿〉
14-265-1 ~ 14-266-4	……但是曼桢总觉得他刚出去做事, 要他独立支持这样一份人家, 那是绝对不可能的。她又给他们寄了一笔钱去。她把这两年的	(…中略…しかし曼桢は弟が仕事が始まったばかりで、一家を支えるには絶対無理といつも思っている。また彼らにまとまったお金を送ってあげた。彼女はここ二年の貯金を次々と全部彼

	<p>积蓄陆续都贴给他们了。 做事(zūzhí) 支持(zìzhí) 贴(tīk)</p>	<p>らに援助する為に使っていた。) 做事: 仕事をする; 家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。) 做事 = 〈工作〉 支持: 支える。支持 = 〈支撑〉 贴: 補助する。「贴给」は《贴拨 tīkbek》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 贴给 = 〈补贴给〉</p>
14-265-5~7	<p>这一天天气非常闷热，傍晚忽然下起大雨来，二房东的女佣奔到晒台上去抢救她晾出去的衣裳。楼底下有人揪铃，揪了半天没有人开门，曼桢只好跑下楼去，…… 晾(lián) 揪(qiū)</p>	<p>(その日はとても蒸し暑くて、夕方には突然大雨が降ってきたので、家を又貸しする大家の女中はベランダへ走って、干してある洗濯物を素早く取り入れた。下にチャイムを鳴らす人が居て、長い時間鳴ってもドアを開ける人が居なかったの、曼桢は仕方なく下へ走っていった。…中略…) 晾: 干す。(《晾出去 liáncèkqī》は方向補語を附加した用法。) 晾出去 = 〈晒出去〉 揪: 押す。(「前掲「12-207-23~25」に同じ。) 揪铃 = 〈按铃〉</p>
14-265-15、16	<p>她的头发是直的，养得长长的搵在耳后，看上去不象一个上海女人，然而也没有小城市的气息。 养(yhián) 搵(lū)</p>	<p>(彼女の髪はストレートで、長く伸ばして耳の後に梳いてあり、見たところでは、上海の女性ではないようだが、地方都市の人のような雰囲気もしていなかった。) 养: 伸ばす。(《养得长长 yhiándèkzhánzhán》は様態補語を附加した用法。) 养得长长 = 〈留得长长〉 搵: 梳く; かく。「搵在」は《搵勒 lūlèk》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 搵在 = 〈梳在〉</p>
14-265-17~19	<p>她费了很多的时间查电话簿，似乎有点抱歉，不时地抬起头来向曼桢微笑着，搭讪着问曼桢贵姓，说她自己姓张。 搭讪(daksàe)</p>	<p>(彼女は多くの時間を電話帳を調べるのに使っていたので、申し訳なさそうに、度々頭を上げて曼桢に微笑みながら、きまりが悪そうに曼桢の名前を聞き、自分は張と言っていた。) 搭讪: きまりが悪そうな様子。(前掲「1-10-3」に同じ。) 搭讪 = 〈拉话〉</p>
14-266-19~21	<p>曼桢突然灵机一动，猜着一定是慕瑾来了。她急忙从床上爬起来，捻开电灯，手忙脚乱地穿上衣裳，便跑下楼去。 灵机一动(línjìyīkdón) 爬起来(pháqiláe) 捻(ni) 手忙脚乱(sōemánjiakléu)</p>	<p>(曼桢は突然とっさに妙案が浮んできて、きっと慕瑾が来たと思った。そして、急いでベッドから起き上がって、電灯を付けて、てんでこ舞いして服を着て、階段の下へ降りて行った。) 灵机一动: とっさに妙案が浮ぶ。 爬: 起き上がる。(《爬起来 pháqiláe》は方向補語を附加した用法。) 爬起来 = 〈起来〉 捻: ひねる。(前掲「7-96-26」に同じ。《捻开 níkàe》は結果補語を附加した用法。)</p>

		捻开＝〈开开〉 手忙脚乱:てんてこ舞いする。
14-266-19～21	她立刻别过身去引路上楼，好在她总是走在前面，依然没有人看见她的脸。……趁着这背过身去铺床的时候，终于把眼泪忍回去了。 别(bhĭk) 背(bàe) 忍(nín)	(彼女はすぐ体の向きを変えて二階へと道案内をしていたが、幸いに彼女はいつも前のほうを歩いているので、やはり誰も彼女の顔を見ていなかった。…中略…背を向けてベットを片付けていることに乗じてどうにか涙を堪えた。) 别:(向きを)変える。(前掲「10-168-11、12」に同じ。《别过身去 bhĭkgūsènqī》は方向補語を附加した用法。)别过身去＝〈转过身去〉 背:背を向ける。(《背过身去 bàegūsènqī》は方向補語を附加した用法。) 背过身去＝〈转过身去〉 忍:堪える。(《忍回去 nínhuéqī》は方向補語を附加した用法。)忍回去＝〈忍住〉
14-267-21、22	曼桢倒了一杯开水搁在他面前，笑道：“你们今天有应酬吧？” 搁(gok)	(曼桢はお白湯を彼に出して、笑いながら、「今日ご夫婦はお付き合いがあるでしょう?」と聞いた。) 搁:置く。(前掲「9-139-14」に同じ。《搁在 gok zháe》は結果補語の用法。)搁在＝〈放在〉
14-268-2、3	慕瑾倘若在这里耽搁得太久了，他的太太虽然不会多心，太太娘家的人倒说不定要说闲话的。 耽搁(dàegok)	(若し慕瑾がここで長く留まると奥さんに疑われることはないが、ご実家の人に陰口を言われるかも知れない。) 耽搁:留まる。(前掲「10-154-5～7」に同じ。) 耽搁＝〈停留〉
14-268-12、13	他们在沉默中，忽然听见一阵瑟瑟的响声，是雨点斜扑进来打在书本上，桌上有几本书，全打湿了。 斜扑(xhiápok)	(彼らの沈黙の中に、突然ひとしきり音して、その雨粒が斜めに降り込んで来て、本の上に注ぐと、机の上の何冊かの本が全部濡れてしまったのだ。) 斜扑:斜めに降り込む。(《斜扑进来 xhiápokjĭn láe》は方向補語を附加した用法。) 斜扑进来＝〈扑打进来〉
14-268-23	曼桢望着那水渍发了一会呆，心里有说不出的惆怅。 发呆(fakdàe)	(曼桢はその水の染みを見て暫くぼかんとすると、心の中で言いようのない寂しさを覚えた。) 发呆:ぼかんとする。发呆＝〈发愣〉
14-270-6、7	不知道怎么一来，热水瓶里的开水一冲冲出来，全倒在她脚面上，她也木木的不大觉得，…… 冲(còn)	(どういう訳か分からないが、ポットのお湯を注いで外に溢してしまい、全部彼女の足の甲に注いでしまったが、彼女は麻痺していたようであまり感じなかった。…中略…) 冲:注ぐ(《冲出来 còncekláe》は方向補語を附加した用法。)冲出来＝〈倒出来〉
14-270-14～16	她更紧地抱住了他，把他的脸撇没在她胸前，唯恐被人发觉这是	(彼女はより強くあの子を抱きしめて、その顔を自分の胸に埋めさせて、ただ人様に子どもが死ん

	一个死孩子。然而已经被发觉了。那满脸横肉的周妈走过来就把他夺了过去，用芦席一卷，挟着就走。 揷没(qīnmok) 挟(jík)	でいたことを気づかれたように恐れているばかりだった。しかし、とうとう見つかってしまった。凶悪な顔つきをしている周ばあやがやってきて、坊やを奪い、葦で編んだむしろで巻いて小脇で抱えて行ってしまった。) 揷没:押えつける。揷没=〈埋没〉 挟:小脇で抱える。(前掲「14-257-2~6」に同じ。「挟着」は《挟勒 jīklèk》にも使われており、動態助詞を附加した用法。)挟着=〈抱着〉
14-271-12~14	她一转念，竟毫不犹豫地走进大安里，她记得祝家是一进门第四家，她径自去揷铃，就有一个女佣来开门，这女佣却是一个旧人，姓张。 揷(qīn)	(彼女は考えを変えて、なんと迷わず大安里に入って行った。祝家は門を入れてから4軒目であることを覚えていたので、彼女は断りなしにチャイムを押すと、ある女中がドアを開けてくれた。その女中は張という古い人だった。) 揷:押す。(前掲「12-207-23~25」に同じ。) 揷铃=〈按电铃〉
14-271-22、23	客堂间前面一排门都钉死了，房间里暗沉沉的，靠里放着一张大床，孩子就睡在那张床上。 钉(dīn)	(客間の前にある一列の門はすべて釘付けされており、部屋の中は日が暮れてとつぷりと暗くて、中には大きなベットが置かれ、子どもはその上で寝ていた。) 钉:釘を打つ。(前掲「12-208-24~26」に同じ。「钉死」は《钉煞 dīnsak》にも使われており、結果補語を附加した用法。)钉死=〈釘住〉
14-271-26~14-272-1	曼桢低声道：“请医生看过没有？”张妈道：“请的。医生讲是他姊姊过的，叫两人不要在一个房间里。” 讲(gān) 过(gū)	(曼桢は低い声で、「医者に診てもらったの？」と聞き、張ばあやは「診てもらった。先生は姉ちゃんからうつったので、二人を同じ部屋にしないように」と言った。) 讲:話す。讲=〈说〉 过:伝染する。(前掲「9-134-18、19」に同じ。) 过=〈传染〉
14-272-11、12	曼桢听了，不禁咬了咬牙，她真恨这鸿才，又要霸住孩子不肯放手，又不好好当心他，…… 咬(gháo) 当心(dànxìn)	(曼桢は聞いて、思わず歯を食いしばり、心から鴻才を恨んでいた。子どもを巻き上げたが、きちんと世話をしない。…中略…) 咬:歯を食いしばる。「咬了咬牙」は《咬勒咬牙 gháolèkgháoghá》にも使われており、動詞の重ね型の過去型の用法。)咬了咬牙=〈咬牙切齿〉 当心:気配りする。当心=〈关心〉
14-272-15	她总怀疑祝家请的医生是否靠得住。 靠(kāo)	(彼女はどうしても祝家が頼んだ医者が信用できるかどうかを疑っていた。) 靠:信用する。《靠得住 kāodekzhí》は可能補語を附加した用法。)靠得住=〈信赖得了〉
14-272-16~18	她跳上一部黄包车，赶回她自己的寓所，走到斜对过那人家，	(彼女は黄包車に乗り込み、家に駆けつけ、そして、斜め向かいにあるあの家まで行き、チャイム

	一 <u>揪铃</u> ，慕瑾已经在洋台上看见了她，她这里正在门口问佣人。 跳(tāo) 揪(qīn)	を鳴らした。慕瑾はすでにベランダで彼女を見かけたのは、彼女が丁度入り口でお手伝いさんに尋ねているところだった。 跳: 乗り込む。(《跳上 tāozhán》は方向補語を附加した用法。) 跳上 = 〈乗上〉 揪: 押す。(前掲「12-207-23~25」に同じ。) 揪铃 = 〈按铃〉
14-273-19 ~ 21	慕瑾走的时候，曼桢一路送他出去，就在弄口的一片药房里配了药带回来，顺便在药房里打了个电话到她 <u>做事</u> 的地方去，请了半天假。 做事(zūzhí)	(慕瑾が出て行った際、曼桢は一緒に彼の帰り道を送って行き、横町の入り口にある薬局で薬を調合してもらって持って帰った。そしてついでに薬局で職場へ電話をかけ、半日の休みをもらった。) 做事: 仕事をする。家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。) 做事 = 〈工作〉
14-274-5~7	张妈道：“……二小姐你不要对别人 <u>讲</u> 呵，她要 <u>晓得</u> 我跟你说的话，我这碗饭就 <u>吃</u> 不成了。阿宝就是因为跟她两个人闹翻了，所以给她 <u>戳</u> 走了。” 讲(gān) 晓得(xiāodek) 吃(qik) 戳(cok)	(張ばあやは、「…中略…お嬢さん、他の人に言わないで下さい。若し彼女にお嬢さんに告げ口したのを知られたら、ご飯の食い上げになってしまう。阿宝は彼女と喧嘩になった為追い出されたわけ」と言った。) 讲: 話す。(前掲「14-271-26~14-272-1」に同じ。) 讲 = 〈说〉 晓得: 知る。(「前掲 7-101-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉 吃: 食べる。(「吃不成」は《吃勿成 qikvèkzhén》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 吃不成 = 〈没法吃〉 戳: 締め出す。(前掲「14-260-19、20」に同じ。《戳走 cōkzōe》は方向補語を附加した用法。) 戳走 = 〈撵走〉
14-274-15	后门口忽然有人 <u>拍</u> 门，不知道可是鸿才回来了 拍(pak)	(突然勝手口をノックする人が居て、鴻才が帰ってきたのだろうか。) 拍: たたく。(前掲「12-204-14」に同じ。) 《拍门 pāk mén》: ドアをたたく。拍门 = 〈敲门〉
14-275-3、4	曼桢却在那里提醒自己，她应当走了。 <u>拣</u> 要紧的事情嘱咐张妈两句，就走吧，宁可下午再来一次。 拣(gāe)	(曼桢はそこで自分に帰らなくてはならないと言いつけてから帰らなくてはならない。むしろ午後もう一度来たほうが良い。) 拣: 選ぶ。(前掲「2-22-25」に同じ。) 拣 = 〈挑选〉
14-275-19 ~ 24	他一副潦倒不堪的样子，看上去似乎脸也没洗，胡子也没剃，瘦削的脸上 <u>腻</u> 着一层黄黑色的油光，……他 <u>搭讪</u> 着走到床前在宝荣额上 <u>摸</u> 了摸，喃喃地道：“今天	(彼はひどく落ちぶれている様子だった。見た目では顔も洗っていないければ髭も剃っていなかった。痩せこけた顔に黄色で黒くびかびか光っている油がくっ付いていた。…中略…彼はきまりが悪そうな様子でベットの前に進み、ちょっと宝荣

	可好一点？医生怎么还不来？” 膩(ní) 搭讪(dāksàe) 摸(mó).	の額を撫でてぶつぶつと「今日少し良くなったか？先生はどうしてまだ来ないか？」と聞いた。 膩:(油などの汚れたものが)粘りついている。(前掲「1-3-12」に同じ。「膩着」は《膩勒 nílèk》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 膩着＝〈粘着〉 搭讪:きまりが悪そうな様子。(前掲「1-10-3」に同じ。)搭讪＝〈拉话〉 摸:撫でる。「摸了摸」は《摸勒摸 mólèkmó》にも使われており、動詞の重ね型の過去形の用法。)摸了摸＝〈抚摸了一下〉
14-275-26 ~ 14-276-3	鸿才咳嗽了一声，又道：“…… 招弟害病，没拿它当桩事情，等 晓得不好，赶紧给她打针，钱也 花了不少，可是已经太迟了。这 孩子也是给过上的，可不能再耽 搁了，今天早上为了想筹一点钱， 就跑了一个早上。” 当(dàn) 晓得(xiāodek) 过(gū) 耽搁(dàngok)	(鴻才は一つ咳をして、また「…中略…招弟が病 気にかかった時重視せず、まずいと分かった時 点に大急ぎで彼女に注射をしてあげた。お金も 沢山かかったが、手遅れだった。この子もうつさ れてしまったので、もうぐずぐずしてはならない。 今朝幾らかのお金を調達する為、午前中ずっと 駆けずり回った」と言った。) 当:見なす。「当桩事情」は《当桩事体 dànzhànzhítī》にも使われている。 当桩事情＝〈看作一事情〉 晓得:知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得＝〈知道〉 过:伝染する。(前掲「9-134-18、19」に同じ。《过 上 gūzhán》は結果補語を附加した用法。) 过上＝〈传染上〉 耽搁:遅らせる。(前掲「10-154-5~7」に同じ。) 耽搁＝〈耽误〉
14-276-10、11	周妈绞了一把热毛巾送上来，给 鸿才擦脸，他心不在焉地接过来， 只管拿着擦手，把一双手擦了又 擦。 绞(gāo) 接(jík)	(周ばあやや鴻才が汗を拭く為暖かいタオルを 絞って持ってきた。鴻才はうわの空であるように 受け取り、ひたすら手を拭き、両手を何回も拭い た。) 绞:絞る。《绞毛巾 gāosoējin》:タオルを絞る。) 绞毛巾＝〈拧毛巾〉 接:受け取る。《接过来 jikgūlái》は方向補語 を附加した用法。)接过来＝〈拿过来〉
14-276-13、14	他背过身去望着曼璐的照片，便 把那毛巾揷在脸上擽鼻子。 背(bāe) 揷(qīn) 擽(hēn)	(彼は背を向けて曼璐の写真を見ると、すぐその タオルを顔に押さえつけて、鼻をかんでいた。) 背:背を向ける。(前掲「14-266-19~21」に同 じ。《背过身去 bàegūsènqī》は方向補語を附加 した用法。)背过身去＝〈转过身去〉 揷:押えつける。(前掲「12-207-23~25」に同じ。)

		《 <u>揷在 qīnzhái</u> 》は結果補語を付加した用法。) 揷在 = 〈按在〉 擤: 鼻をかむ。(前掲「4-68-5」に同じ。)
14-276-17、18	曼桢呆呆地望着那照片，她姊姊是死了，她自己这几年来也心灰意冷，过去那一重重 <u>纠结</u> 不开的恩怨，似乎都化为烟尘了。 纠结(jiùējīk)	(曼桢はぼんやりしてあの写真を見ていた。姉は確かに死んでいた。自分もここ数年来気落ちし、過去においてその何層かもつれ合った怨念は烏有に帰したようだった。) 纠结: もつれ合う。「 <u>纠结不开</u> 」は《 <u>纠结勿开 jiùējīkvěkkài</u> 》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 纠结不开 = 〈解不开〉
14-277-10 ~ 12	曼璐从前曾经一再地向她说，鸿才对她始终是非常敬爱，他总认为她是和任何女人都两样的，他只是一时神志不清 <u>做下</u> 犯罪的事情，也是因为爱的她太厉害的缘故。 做(zū)	(曼璐は以前彼女に何回も言ったことがある。鴻才には彼女に対して終始とても慕っており、彼女を他のどんな女性とも同じではないと思っている。鴻才は意識が朦朧とし、とっさに犯罪行為を犯してしまった。それも彼女を愛しすぎたせいであつた。) 做: (～を)する。《 <u>做下 zūhhó</u> 》は結果補語を附加した用法。) 做下 = 〈干出〉
14-278-19、20	这一天，他忽然在无意中看见曼桢那边开着一扇窗户，两条毛巾也换了一个位置，仿佛新洗过，又晾上了。 晾(lián)	(その日、彼は、曼桢の建物のほうにひとつの窓が開いて、二本のタオルの位置が変わり、新しく洗濯してから干してあるのが無意識に見えた。) 晾: 干す。(前掲「14-265-5～7」におなじ。《 <u>晾上 liánzhán</u> 》は方向補語を附加した用法。) 晾上 = 〈晒上〉
14-279-13 ~ 16	桌上已经擦得很干净了，她又还拿抹布在桌上无意识地 <u>揩来揩去</u> 。揩了半天，又去伏在窗口 <u>抖掉</u> 抹布上的灰。……两只手 <u>拎着</u> 它在窗外 <u>抖灰</u> ，那红纱在夕阳与微风中懒洋洋地飘着。 揩(kā) 拎(līn) 抖(dǒu)	(テーブルはすでに綺麗に拭かれているが、彼女はまた布巾で無意識にテーブルの上を何回も拭いた。長く拭いてから、更に窓の縁に伏せて布巾に付いている埃を振るっていた。…中略…両手で布巾を提げて窓の外へ埃を振るっていて、その赤い更紗は夕日とそよ風の中で元氣なくひらひらと漂っている。) 揩: 拭く。《 <u>揩来揩去 kàiláekàqī</u> 》: 繰り返して拭いている。) 揩来揩去 = 〈反复擦〉 拎: 手を提げる。(前掲「14-263-11～18」に同じ。「 <u>拎着</u> 」は《 <u>拎勒 līnlèk</u> 》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 拎着 = 〈提着〉 抖: 振るう。「 <u>抖掉</u> 」は《 <u>抖脱 dǒutèk</u> 》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 抖掉 = 〈拂掉〉
14-280-18	慕瑾愕然望着她，她把脸 <u>别</u> 了过去，脸上却是一种冷淡而强硬的神情。 别(bhīk)	(慕瑾は愕然として彼女を見ており、彼女は顔の向きを変えていたが、顔は冷たく、そして強い意志を表す表情であつた。) 别: (向きを)変える。(前掲「10-168-11、12」に同

		じ。《别过去 bhīkgūqī》は方向補語を附加した用法。) 别过去 = 〈转过去〉
14-281-5~7	……但是曼璐——他想起他们十五六岁的时候刚见面的情景，还有他们初订婚的时候，还有后来，她为了家庭出去 <u>做</u> 舞女，和他诀别的时候。 做(zū)	(…中略…しかし、彼は曼璐については、——彼らはまだ十五、六才の頃に会ったばかり頃の光景や、二人が婚約時のこと、その後曼璐が家族の為ダンサーになったこと、そして二人の離別時のことを思い出した。) 做: ~になる。(前掲「11-172-18~20」に同じ。《做舞女 zūwúnú》:ダンサーになる。) 做舞女 = 〈当舞女〉
14-280-16 ~ 19	她也晓得这样做是不对的，心里万分矛盾，非常需要跟慕瑾商量商量，但是她实在觉得非常抱愧，尤其觉得愧对慕瑾。 晓得(xiāodek) 愧对(kuèdē)	(彼女もこのようなやり方は良くないと知っているが、心では大いに矛盾しており、慕瑾と少し相談したかったが、どうしても合わせる顔がないと思った。特に慕瑾に対して申し訳なく思っている。) 晓得: 知る。(「前掲 7-101-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉 愧对: 合わせる顔がない。(前掲「12-208-4、5」に同じ。) 愧对 = 〈愧待〉
14-281-22	……这时候她忽然翻过来说要嫁给他，当然无法启齿了。 翻(fàe)	(…中略…彼女はこういう時に、突然ひっくり返して彼と結婚したいと思っても、当然口に出すことができなかった。) 翻: ひっくり返す。逆のことをする。(「前掲 11-176-6、7」に同じ。《翻过来 fàegūláe》は方向補語を附加した用法。) 翻过来 = 〈反过来〉
14-283-12 ~ 16	曼楨心想这里的房子她就要回掉了，他写信来也寄不到的，但是她也没说什么。她实在没法子告诉他。将来他总会从别人那里听到的，说她嫁给鸿才了。他一定想着她怎么这样没出息，他一定会懊悔他过去太看重她了。 回(hhué) 懊悔(āohuē)	(曼楨はこの部屋をまもなく返却することになるので、彼が手紙を出しても届くことはできないが、それでも彼女は何も言わなかった。彼女はどうしても彼に打ち明けることができなかった。いつか彼は人から、彼女は鴻才に嫁いだことを耳に入るに違いない。彼は、きっと曼楨のことを情けない人だと思ひ、また、昔会いに来たことを後悔するだろう。) 回: 返す。(「回掉」は《回脱 hhuétek》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 回掉 = 〈还掉〉 懊悔: 後悔する。(前掲「11-181-17、18」に同じ。) 懊悔 = 〈后悔〉
14-283-19、20	曼楨回到楼上来，站在窗口，看见慕瑾还站在斜对过的后门口，似乎 <u>掀</u> 过铃还没有人来开门。 掀(qīn)	(曼楨は二階に戻り、窓辺に立っていると、慕瑾はまだ斜め向かいの裏口に立っていて、チャイムを押しても、誰もドアを開けに来そうにないのを見ていた。) 掀: (チャイムを) 押す。(《掀过铃 qīngūlín》は動態助詞を附加した用法。) 掀过铃 = 〈按过铃〉

**【参考資料】**

榎本英雄／范晓 著、1996年4月5日第6刷『エクスプレス上海語』(白水社)

阮恒輝 著、2014年8月『上海話教程』(上海辞書出版社)

錢乃栄 編著、2008年4月第5版『上海話大詞典』(上海辞書出版社)

丁迪蒙 著、2015年1月第2版『学説上海話』(上海科技文献出版社)

宮田一郎 編著、昭和63年9月10日『上海語常用同音字典』(光生館)

**【参考文献】**

張惠苑 編集、2014年1月『張愛玲年譜』(天津人民出版社)

余斌 著、2001年12月第2版『張愛玲伝』(広西師範大学出版社)

「張愛玲作品」

『十八春』1986年1月第1版(江蘇文藝出版社)

[長篇小説]『半生縁』2001年4月1日(皇冠文化出版有限公司・典藏初版一刷)